

安心してバスを利用できる双方向アプリ

移動の足として欠かせないバスは、交通事情により時刻表通りに到着しないこともあり、「バス待ちのイライラ」が利用しにくさにもつながっていた。そこで埼玉

県では、2013年の暮れから、上尾市と神川町にて、バスの運行状況を伝えるサービス「バス coi」の試行運用を行った。

各バスにiPhoneを搭載し、GPS情報と運行速度からバスの位置をリアルタイムに発信。顧客はスマートフォン等からバスの状



左)スマートフォンからバスを探す画面

右)バスを待てる近隣のスポット「バスまちスポット」では、タブレットから運行中のバスに乗車の意思を伝えられる

業種	地方自治体
活用分野	バスの運行情報提供
テクノロジー	モバイルアプリ、NFCシステム連携、GPS
端末	スマートフォン  

況に加え、路線情報、時刻表、バス停の位置、バスを待てる施設「バスまちスポット」などの情報を得ることができる。また、iPhoneアプリ「のるボタン」から乗車意思を伝え乗り遅れを防ぐことも可能となった。